

まちづくり

No. 109

広島市中区社会福祉協議会
令和5年12月 発行

〒730-0051 広島市中区大手町4丁目1番1号 大手町平和ビル5階
Tel.082-249-3114 FAX.082-242-1956
Eメール naka@shakyohiroshima-city.or.jp



中区社協HP



Facebook

江波
地区

げんき人研修会を 開催しました！！



江波地区の地域特性として水害、土砂災害のリスクが高く平時から学びの機会や繋がりを作る必要があり令和3年から研修を開催しています。

防災を切り口として、自力で避難することが困難な方について、事前にできることは何なのか、実効性の高い避難計画をどのように考えていくのか、専門職を含む多様な関係者で検討します。

令和5年11月11日に第3回江波地区元気人研修会を開催し、大阪公立大学より野村恭代教授を招き、地域における防災の取組についての実践報告や、グループワークを行いました。

地域住民、地域団体、専門職と約80名の方がご参加され、活発な意見交換の場となり、有意義な時間となりました。



研修会に参加された方の声

いろいろな人の話が聞けて良かった。防災に対する考え方が変わった。

住民同士でここまで深く考える場が今までなかったので、大変良い時間だった。継続することが大事なので、今後も開催してほしい。

江波地区社会福祉協議会 恵南会長へお話を伺いました。

Q.げんき人研修会への思いについて一言。

A.災害時に支援を必要とする人に対して支援を個別で考えるのではなく、江波地域全体で支える意識を持ってほしい。そのようなまちづくりに取組みたいが、研修会がその一助となれればと思う。

Q.研修会を終えての感想を一言。

A.今回で3回目の開催となり、1回、2回目と開催のたびに、参加された方の防災に関する意識を一段と高く感じた。まず自分たちには何ができるのかという視点が第一に感じられた。今後も江波の住みやすいまちづくりのために研修を開催していきたい。

ヤクルト山陽さんの企業貢献

白島地区では高齢者の外出機会促進のために「白島いきいきシールキャンペーン」を実施しています。キャンペーンの企画中に中区社協にヤクルト山陽の方が地域貢献で何かできないかとの相談があり、キャンペーンに参加していただくこととなりました。そして、白島九軒町町内会と協議を重ねて、12月2日にそのキャンペーンの一環としてヤクルト白島センターにて交流会を行いました。当日は約50人の参加者にお越しいただき、ヤクルトさんの講座や、ゲームコーナーで楽しんでいただきました。

▶白島いきいきシールキャンペーンとは

このキャンペーンは高齢者の外出機会促進のために白島地区社協が白島気くばりネットを通じて実施している事業です。協力店舗を回り、シールを集めることで様々な商品と交換できます。
※対象者は白島地区にお住いの75歳以上の方です。



手をつなぐ育成会中区支部学校親の会（ポップコーン） 「土曜教室」活動紹介

「土曜教室」は、障がいをもつ子どもたちの余暇活動の充実、参加者同士の交流を目的に、親子やボランティアと一緒に季節行事や料理などの活動をしています。

令和5年11月23日(木)には佐伯区湯来町の「湯来交流体験センター」にバスハイクに行き、こんにゃく作り体験を通してみんなで楽しみながら交流しました。



作業所交流会を開催しました♪

8月25日(金) 吉島福祉センターにて作業所連絡会を4年ぶりに開催しました♪
作業所交流会は、中区内の障がい者作業所の交流・仲間づくりを目的として開催しています。
本年度はもみじ作業所、カープクラブ、アイラブ作業所の総勢88名が参加されました!



- 午前 作業所の仲間みんなで会場準備・飾り付け、みんなで昼食
- 午後 各作業所紹介・〇×クイズ・パフォーマンス、レクリエーション（名前ビンゴ）



※ 参加されたみなさんの様子 ※

パフォーマンスの際には一緒に踊ったり、昼食時間や休憩時間は交流したりと、笑顔であふれていました。

～もっと知るうもっと語ろう認知症～「認知症になっても」安心して暮らせる社会を

令和5年11月18日(土) 中区地域福祉センターで事前申込の参加者83名を迎えて講演会を開催しました。

講師には、井門ゆかり先生(井門ゆかり脳神経内科クリニック院長)をお迎えし、「先手必勝! 認知症の早期発見と対応」と題してご講義いただきました。認知症の早めの気づき・受診の必要性について分かりやすく学ぶことができ、大変意義深い内容でした。井門式簡易認知機能スクリーニング検査も紹介していただき、実際に参加者も体験してみるなど、認知症を自分事として考えるきっかけにもなったのではないかと思います。

また、「認知症の人と家族の会」の会員の方が介護体験発表をされました。「アルコール依存から認知症へ」と題して介護の実体験をお話しされ、身近な人の介護に係る苦悩、葛藤、

受容に至るまでの様々な思いを家族の目線から時系列で聴かせていただきました。厳しく辛い内容ばかりではなく、時には笑いも交えながら、認知症になっても続いていく生活ができるだけ楽しく幸せなものにしていこうという姿勢に勇気もらいました。参加者からも「良い講演会だった。自分ももう一度頑張ってみようと思う。」などの声をいただき、貴重な時間となりました。



なか
かく
介護者の
集い

日帰りリフレッシュ交流会を開催しました

令和5年9月21日(木) 在宅介護者14名と職員3名の計17名で「厳遊庭(西区古田台)」に行ってきました。景色の良い高台で食事をしながら、お互いの日頃の介護の悩みなどを共有し、つかの間のひとときを満喫しました。念願の開催であったため、皆さんとても喜んでおられました。



母子会「ふれあいバスハイクとバーベキュー」を開催しました



令和5年9月24日(日) 中区母子会と共催で中央森林公園にバスハイクに出かけました。清々しい秋晴れの中、10家族16名と社協職員4名の計20名でバーベキューをし、参加した親子同士で交流したり、身体を動かしてたくさん遊びました。



あたたかいご寄附を
ありがとうございました

皆さまのご寄附は、福祉のまちづくりの推進のために、大切に使用させていただきます。

【物品寄附】 匿名1名(ハガキ100枚)

(令和5年7月1日～令和5年11月30日現在)

赤い羽根共同募金

令和5年10月1日から赤い羽根共同募金が始まっています。



今年度も広島市中区共同募金委員会では、「自分の町を良くするしくみ」を全国統一スローガンに赤い羽根共同募金運動(期間: 令和5年10月1日～12月31日)が実施されています。

赤い羽根共同募金は、民間の運動として戦後直後の1947(昭和22年)に、市民が主体の取り組みとしてスタートし、現在まで続いている歴史ある全国的な運動です。

当初、戦後復興の一助として、被災した福祉施設を中心に支援が行われ、その後、法律(現在の「社会福祉法」)に基づき、地域福祉の推進のために活用されてきました。

社会の変化のなか、赤い羽根共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ」として、取り組まれています。

11月29日～12月1日に広島市立国泰寺中学校の生徒さんが校内で募金活動を行いました。赤い羽根のカープコラボTシャツを着

て活動され、たくさんの募金寄せられました。

赤い羽根共同募金は、みなさんのお住まいの地域で幅広く活用されています。中区社会福祉協議会にお寄せいただいた募金は、ひとり親家庭の子どもや障がいをお持ちの方、高齢者等の交流活動など、皆さんの住むまちの地域福祉活動へ活かされています。



ボランティアセンター通信

「なかくボランティアまつり」を開催しました!

10月28日(土)に「第25回なかくボランティアまつり」を開催いたしました!

4年ぶりにステージ発表も行われ、コロナ禍前に近い形で開催できました。当日は子どもからお年寄りまで約400名という非常に多くの方が来場され、大変賑やかなおまつりとなりました。

おまつりに協力していただいた関係者の皆さま、ボランティアの方々並びに、バザー物品を提供していただいた方々にこの場を借りて厚くお礼申し上げます。

ご来場いただきました皆さまありがとうございました。

※バザーの収益金は、中区のボランティア活動推進のために大切にに使わせていただきます。



ボランティア交流会を開催しました♪



9月26日(火)にボランティア連絡会と共同で、ボランティア交流会を開催しました。

中区内を活動拠点としているボランティアグループや個人ボランティアとの情報交換、親睦を図り、今後の活動の発展や、活動への意欲向上を目指すため毎年開催されています。

本年度の交流会では、「福祉マークについて」というテーマで講師の方を招いて、講座・グループワークを行いました。ボランティア活動をする上で、福祉マークを認識しておいてほしいというお話しでした。

参加された方からは、「福祉マークについてほとんど知らなかった。学んだことを多くの人に広めていきたい。」「とても勉強になり、もっと知りたいので同じテーマでもう一度やってほしい!」との感想を多くいただきました。

講座の後は少しの時間ですが、日ごろのボランティア活動などの情報交換を行いました。

講座に交流・親睦と有意義な時間を過ごせたのではないかと思います。



身体障害者
標識



聴覚障害者
標識



耳マーク



オストメイト
マーク



ハート・プラス
マーク

申し込み
問い合わせ

広島市中区社会福祉協議会/中区ボランティアセンター

〒730-0051 広島市中区大手町4-1-1 大手町平和ビル5階

TEL.082-249-3114 FAX.082-242-1956

✉ naka@shakyohiroshima-city.or.jp ☎ http://shakyo-hiroshima.jp/naka/

